

「本の甲子園」に寄せられた選考委員のコメント

(「本の甲子園」公式Xより)

選考委員コメント

奴隷戦士として活躍する少年やその仲間と上官、家族など、様々な人物の視点がリレーをするように物語が展開し、史実の「安史の乱」へと連なる、その壮大さに圧倒されました。

主人公をソグド商人と漢人の間の息子とすることで、境界人として揺らぎのある、魅力的な人物像になっていると感じました。

山形県代表

「石刻師リョウ 草原を駆ける風」

雲井 耕



幻冬舎メディアコンサルティング

本の甲子園
2026

選考委員コメント

リョウと一緒にモンゴルの草原を一気に駆け抜けた気がする。

読んでて涙溢れて苦しくなるほどの切なさも、爽やかなドキドキも、心拍数の上がるいき詰まる戦闘シーンも、仲間達とリョウの心や身体の成長を一緒に味わっているうちに読み終わった。(中略)

人は、自分が何者なのか、どこに向かっていくのか、何をしたいのか、どんな時でも自分の頭で考えて進んでいける事が幸せなのだと、リョウが体を張って教えてくれてる気がした。

読後は、一筋の風を感じるような作品でした。

山形県代表

「石刻師リョウ 草原を駆ける風」

雲井 耕



幻冬舎メディアコンサルティング

本の甲子園
2026